

< 里地先海岸災害復旧(23災586号)工事 事業概要 >

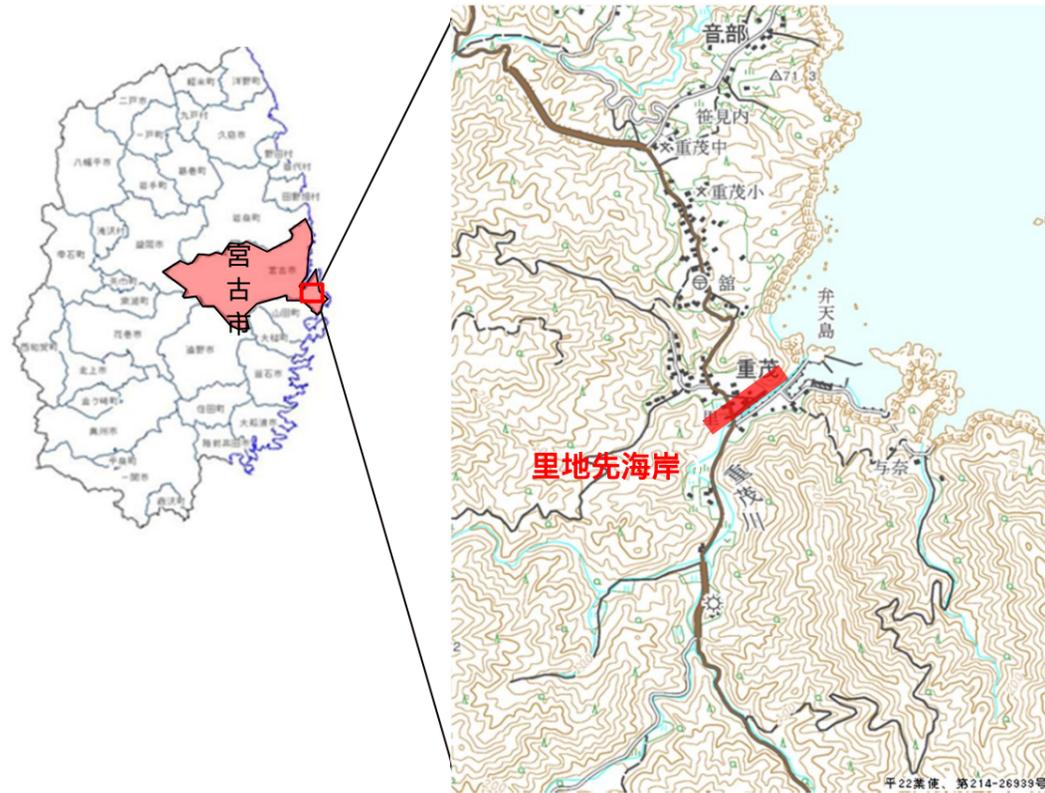
里地先海岸の概

里地先海岸(三陸北沿岸宮古海岸重茂地区海岸)は、本県三陸海岸のほぼ中央部、本州最東端の重茂半島に位置しており、重茂半島の中核港である重茂漁港とその背後集落である里地区がある。

当海岸は昭和35年のチリ地震津波を契機とし、チリ地震津波対策事業にてT.P.+10.0mの防潮堤が、二級河川重茂川に並行する形で整備された。

被災状況

東日本大地震津波によって、重茂海岸は痕跡値T.P.+21.8mの津波に襲われ、当該地区は壊滅的な被害を受け、海岸保全施設も施設全体が最大70cm沈下するとともに、防潮堤の裏法被覆部に損傷、断面欠損の被害が生じるなど、深刻な被害を受けた。

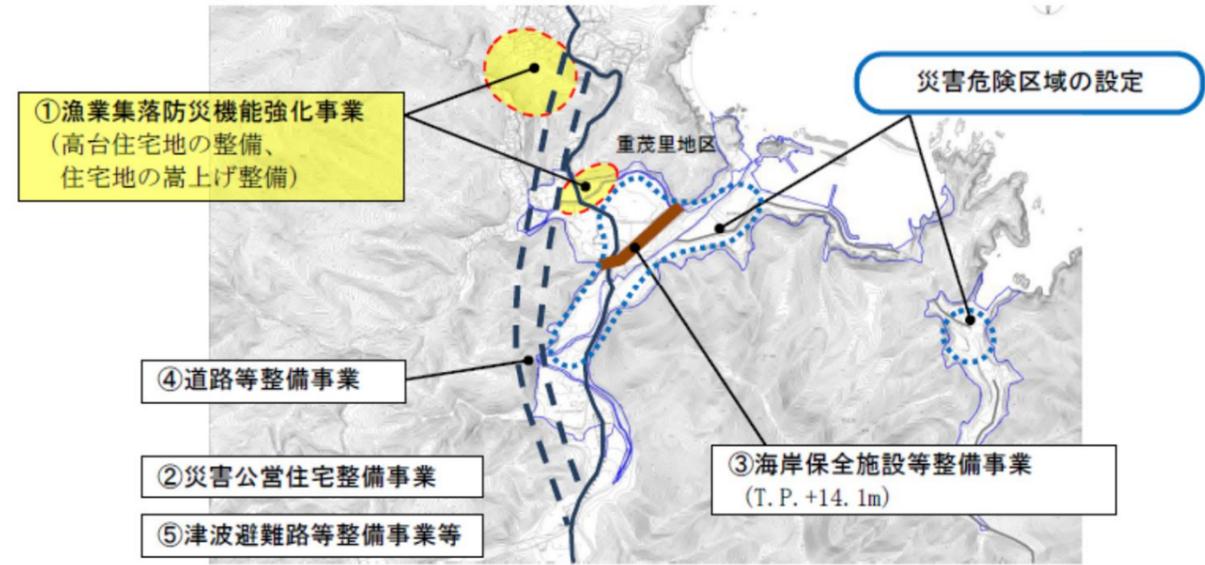


被災前 (2010.3.9)

被災後 (2011.3.28)



復興まちづくり計画



防潮堤高上

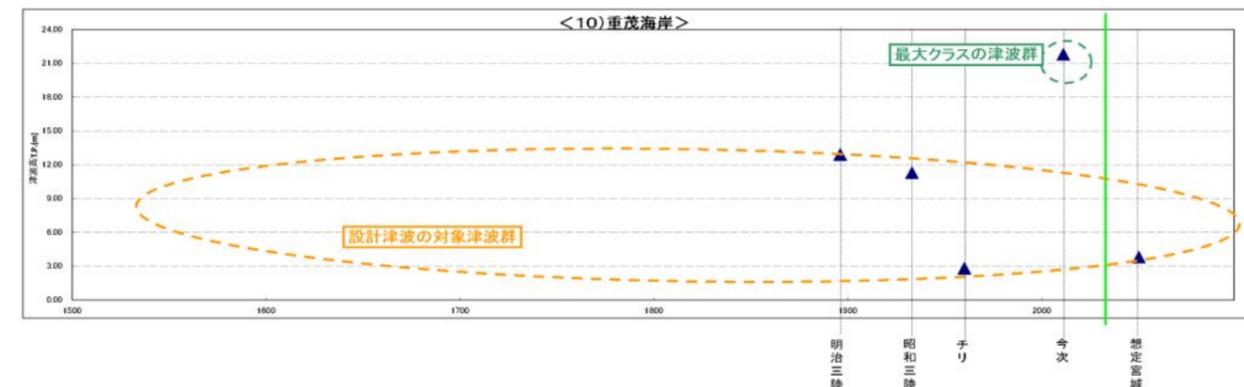
H23.7.8付海岸関係省庁通知に基づき、以下の手順で計画堤防高を設定した。
過去に発生した津波の中から設計対象波を選定。
せり上がりを考慮した津波の水位を算出し、設計津波の水位を算定。
余裕高1.0mを加えた高さを新計画堤防高さとして設定。

「岩手県津波技術専門委員会」での審議を経て、重茂海岸(里海岸を含む)は新計画堤防高をT.P.+14.1mと設定した。

計画高

単位:m(T.P.)

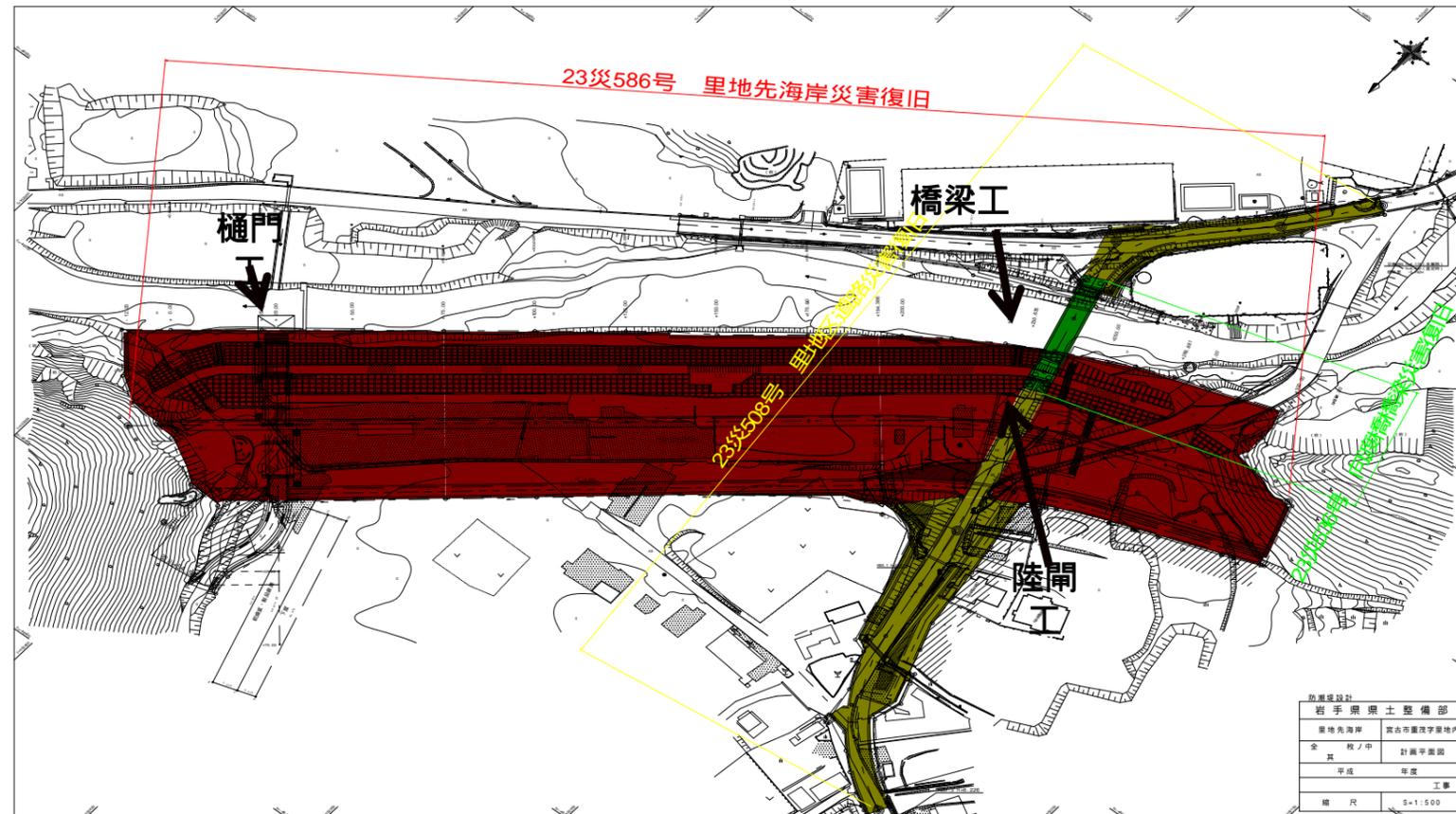
地域海岸名	設計津波		堤防高設定値	被災前現況堤防高
	対象地震	設計津波の水位		
重茂海岸	明治三陸地震	13.1	14.1	10.0



< 里地先海岸災害復旧(23災586号)工事 事業概要 >

復旧概要 (水管理・国土保全局所)

全体平面図



完成状況写真(上流側)



完成状況写真(陸開工・道路工)



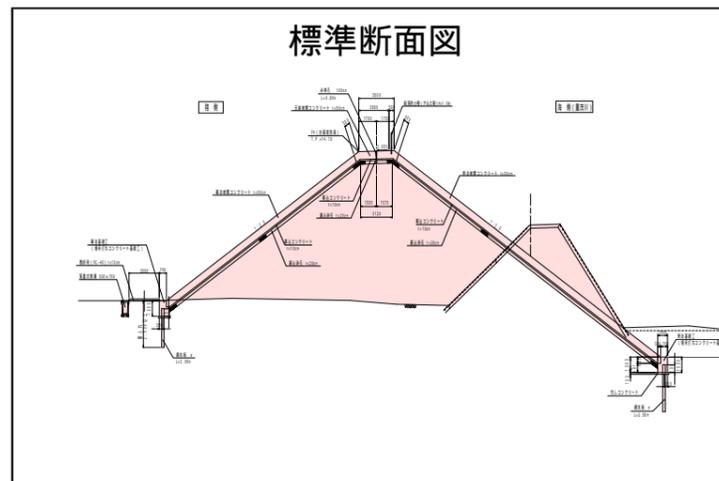
災害査定

工事名 : 里地先海岸災害復旧(23災586号)工事

決定額(工事費) : 956,484 千円

工事概要 : 復旧延長 L=311.1m、
防潮堤工 L= 311.1m、
樋門工 N=1基

標準断面図



完成状況写真(築堤工)海側

